







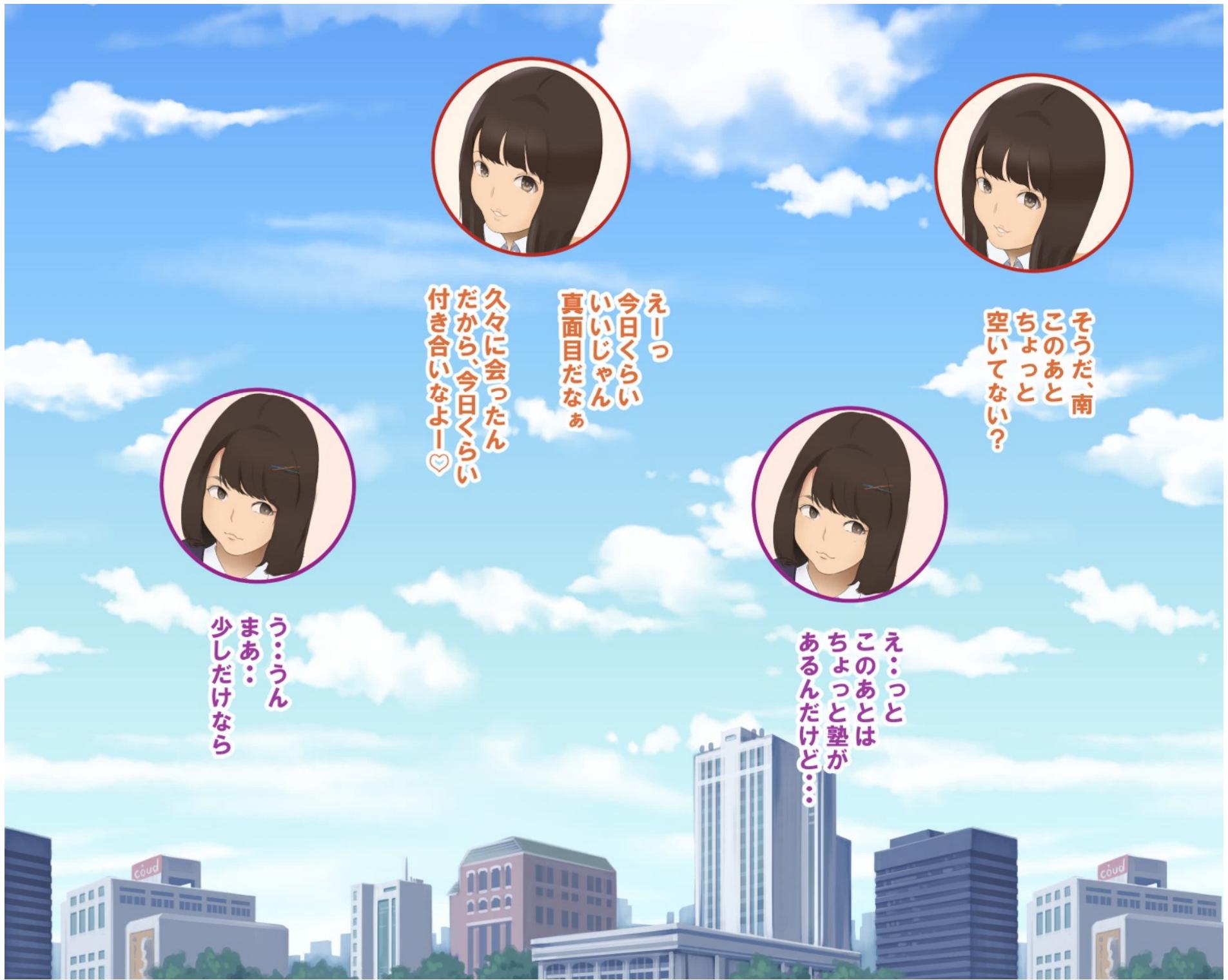
私の名前は 大沢南。左側の紺色セーターの方です。
名門の清女子学園に通う 2年生。真面目でちょっと人見知りな性格です。

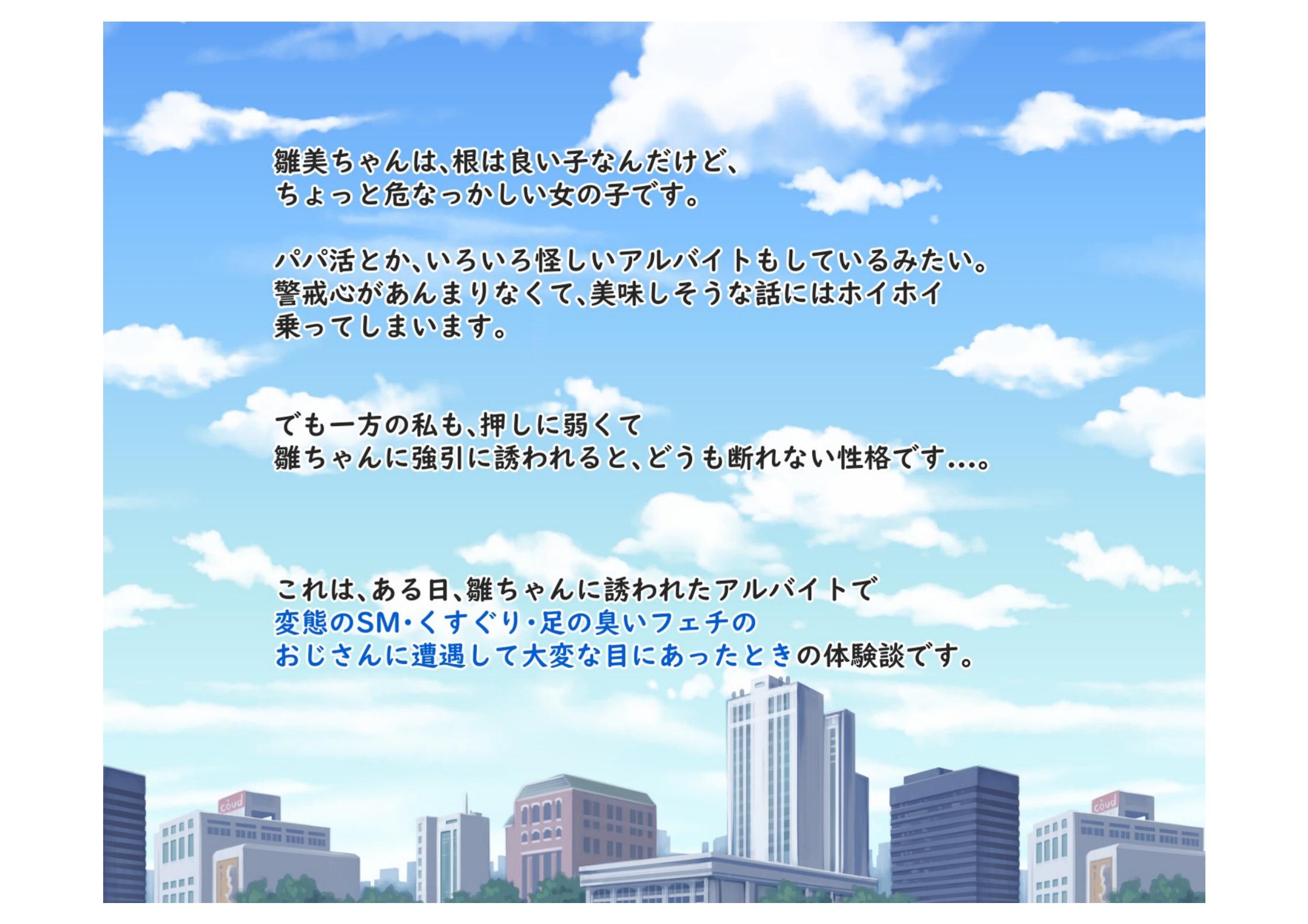




右側の女の子は雛美ちゃん。小学校からの幼馴染です。
内気な私をよく遊びに誘ってくれるお友達です。







雛美ちゃんは、根は良い子なんだけど、
ちょっと危なっかしい女の子です。

パパ活とか、いろいろ怪しいアルバイトもしているみたい。
警戒心があんまりなくて、美味しそうな話にはホイホイ
乗ってしまいます。

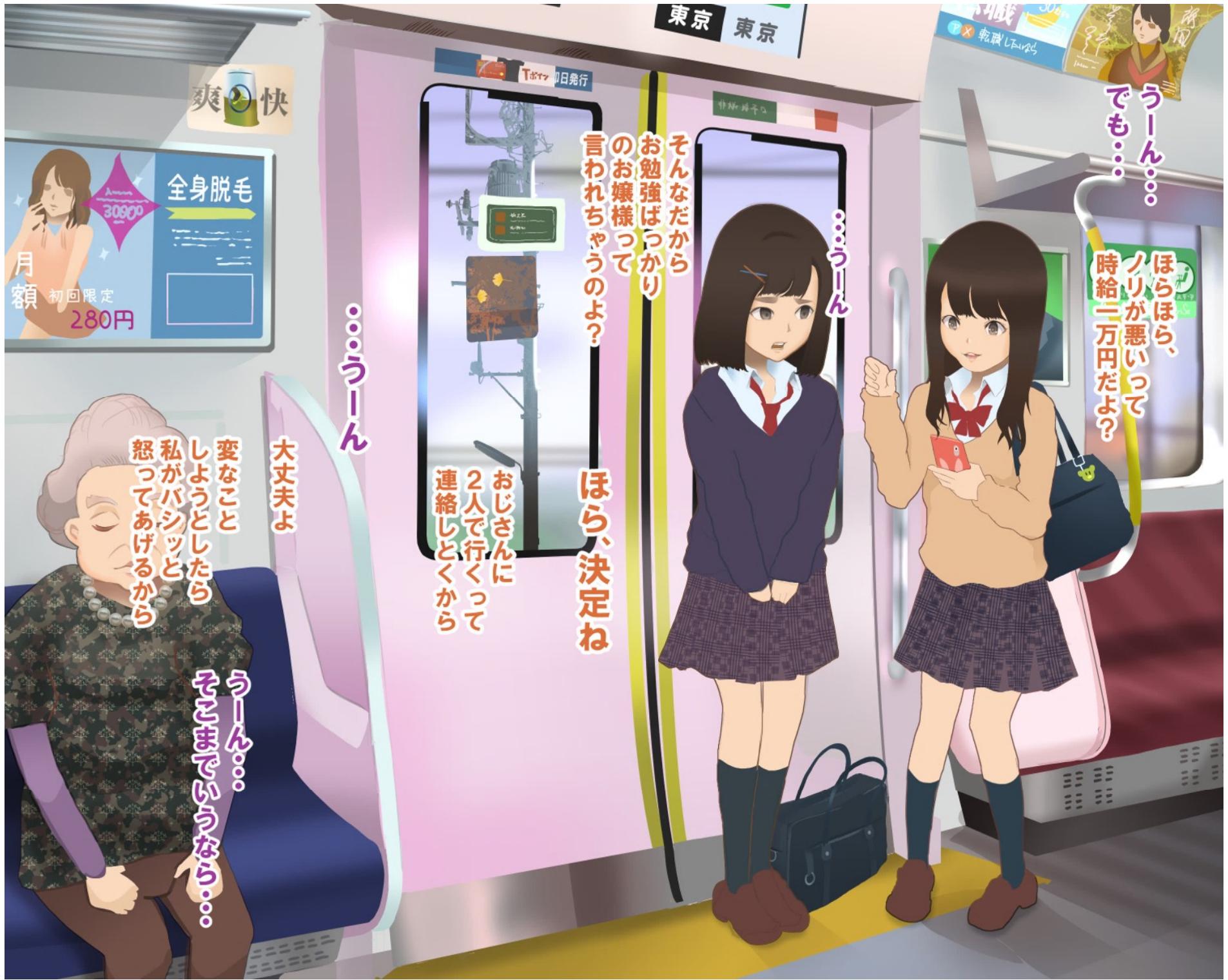
でも一方の私も、押しに弱くて
雛ちゃんに強引に誘われると、どうも断れない性格です....。

これは、ある日、雛ちゃんに誘われたアルバイトで
変態のSM・くすぐり・足の臭いフェチの
おじさんに遭遇して大変な目にあったときの体験談です。







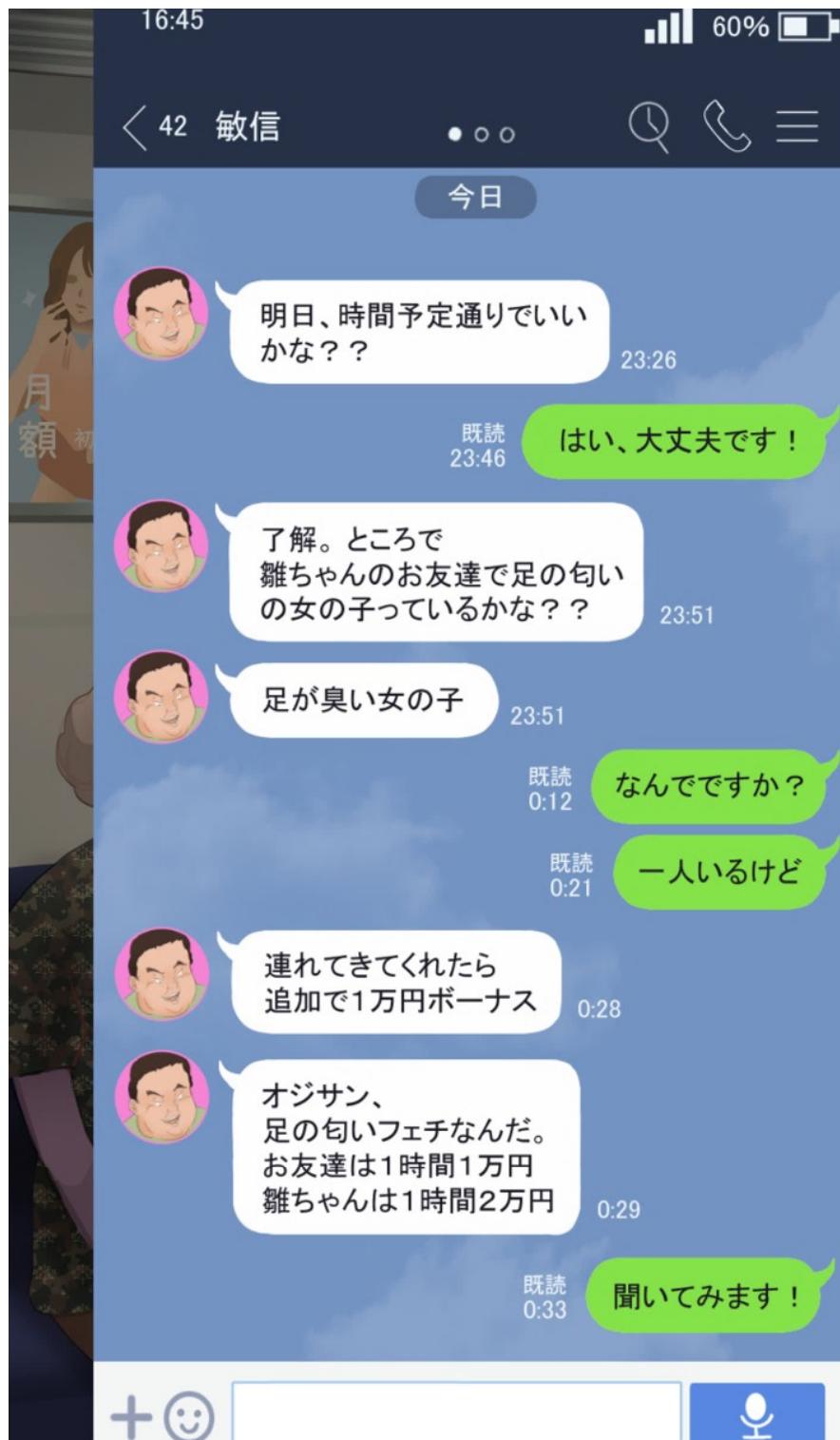




こうして私は、怪しい話だと思いつつも、
雛ちゃんの押しの強さに負けてアルバイトに付き合うこ
とになったのでした。



でも、このとき私は、なぜ雑ちゃんが眞面目な私をわざわざ誘ったのか、その本当の理由までは知りませんでした。





午後16時頃。
私と雛ちゃんは、男性の家に到着しました。
1人暮らしのアパートでした。







部屋から出てきたおじさんは、名前を敏信さんといいました。
身長180センチ近くはある小太りで大柄な男性でした。









敏信さんは、本格的なSM拘束具を取り出すと、私たち2人の全身を拘束しました。拘束具はとても頑丈で、ピクともしませんでした。







敏信さんは、私たちの靴下を脱がせると、その匂いを嗅ぎ始めました。
とくに足が臭いのがコンプレックスの私には、たまらない辱めでした。









ぐふつ
そうだつけ?

俺は「嫌がること
ではない」とて
約束したな

だから
無理強いは
しないぜ

服を脱いだりは
しないって
約束したでしょ?

ちよつと!
敏信さんつ?!

















ぜんぶつ
全部脱ぎたいですーっ
ははつははははは

ははーーはつはははつ
ハダカになるっ
ハダカになるがらあつ

ひーつひひひつひひひつ
ひやつひやつひやつひやつ

パンツも全部脱いでつ
すっぽんぽんに
なるがらーーひひひつ

やーー回やめでつ
回ぐずぐるの
やめでええつ

こちよ

こちよ

こちよ

こちよ

カリカリカリカリ





私は幼馴染だから知っていますが、離ちゃんは小さい頃からくすぐりが超苦手です。
あんな身動きのとれない格好で足の裏をくすぐられるのは、相当きつかったでしょう。





こうして雛ちゃんは、制服も下着も脱いでハダカにさせられました。



雛ちゃんは、すっぽんぽんの姿で両手をパンザイしたまま、
おじさんの首の後ろに手を回した格好で、手首を拘束されていました。















…お?
もしかして
息止めてるな? (笑)

ぐふふつ
そんなことしても
意味ないのに
おバカだなあ

じゃあ
おじさん
手伝つてあげるね



それそれ
こちよこちよ
こちよこちよ
こちよこちよ

ほら
丸出しの腋の下
こちよこちよ
こちよこちよ

こちよ
こちよ
こちよ
こちよ

ふちよ
ふちよ
ふちよ









(いやつ)

ほら、回呼吸
できないように
こうしてやるぜ♡

よし
いいことを考えたせいか
そうか。。。
回呼吸できちゃうのか
そりゃダメだな

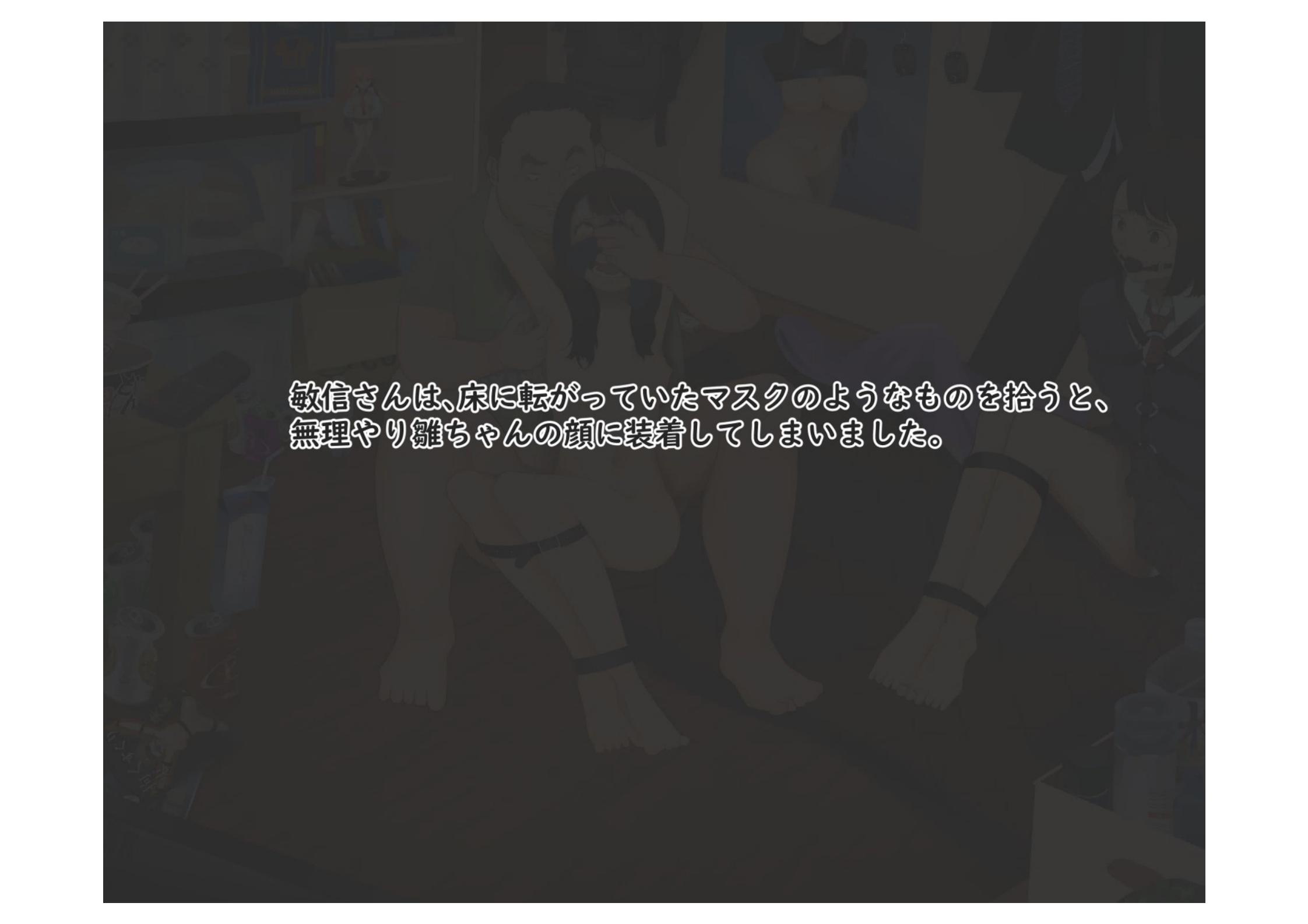
(やめてっ)

ぐふつ♡
まずは特注の
鼻呼吸強制マスク
を装着して。。。:

マスクには
空気ポンプをつないで

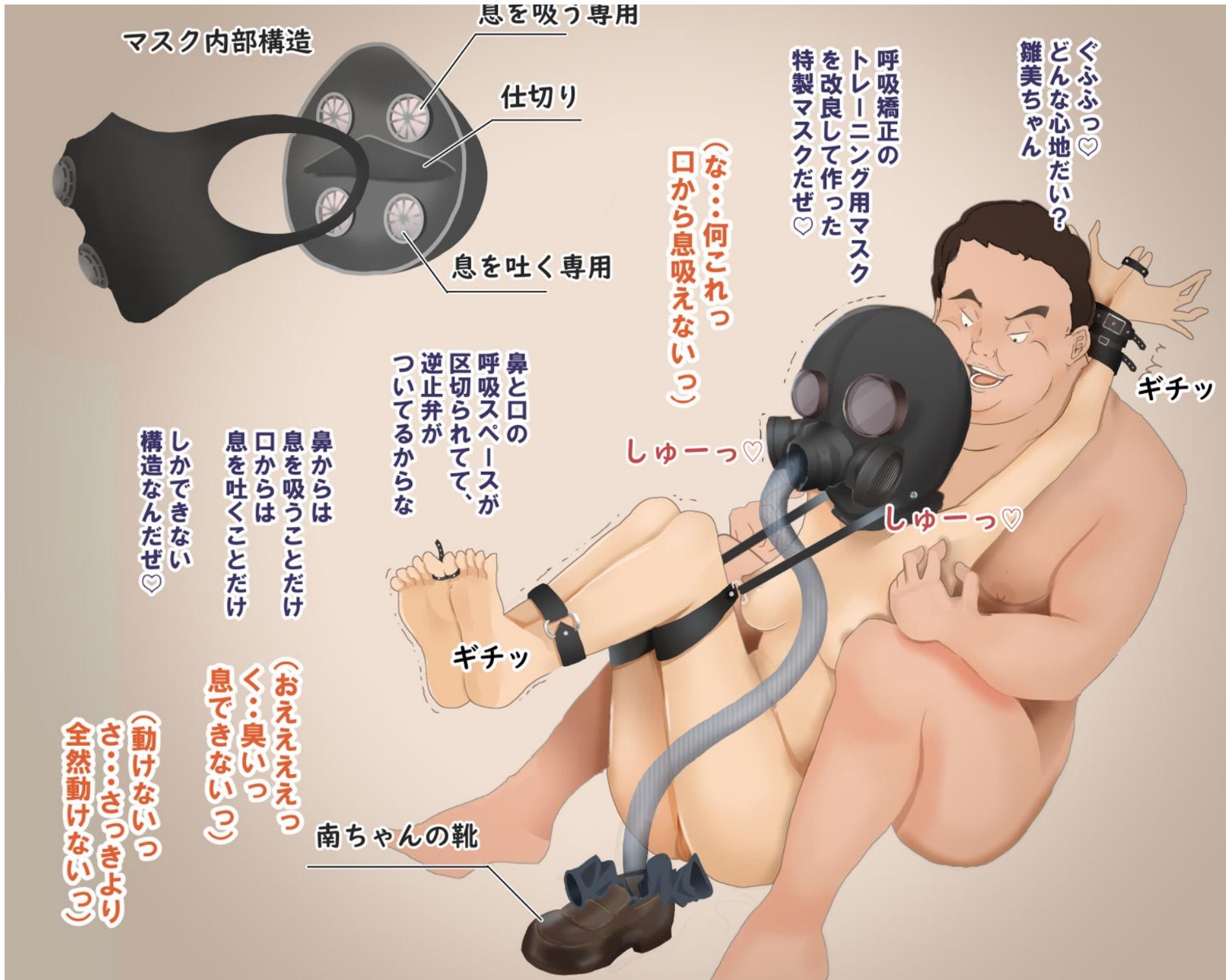
ついでに
足を動かないように
拘束して
。。と

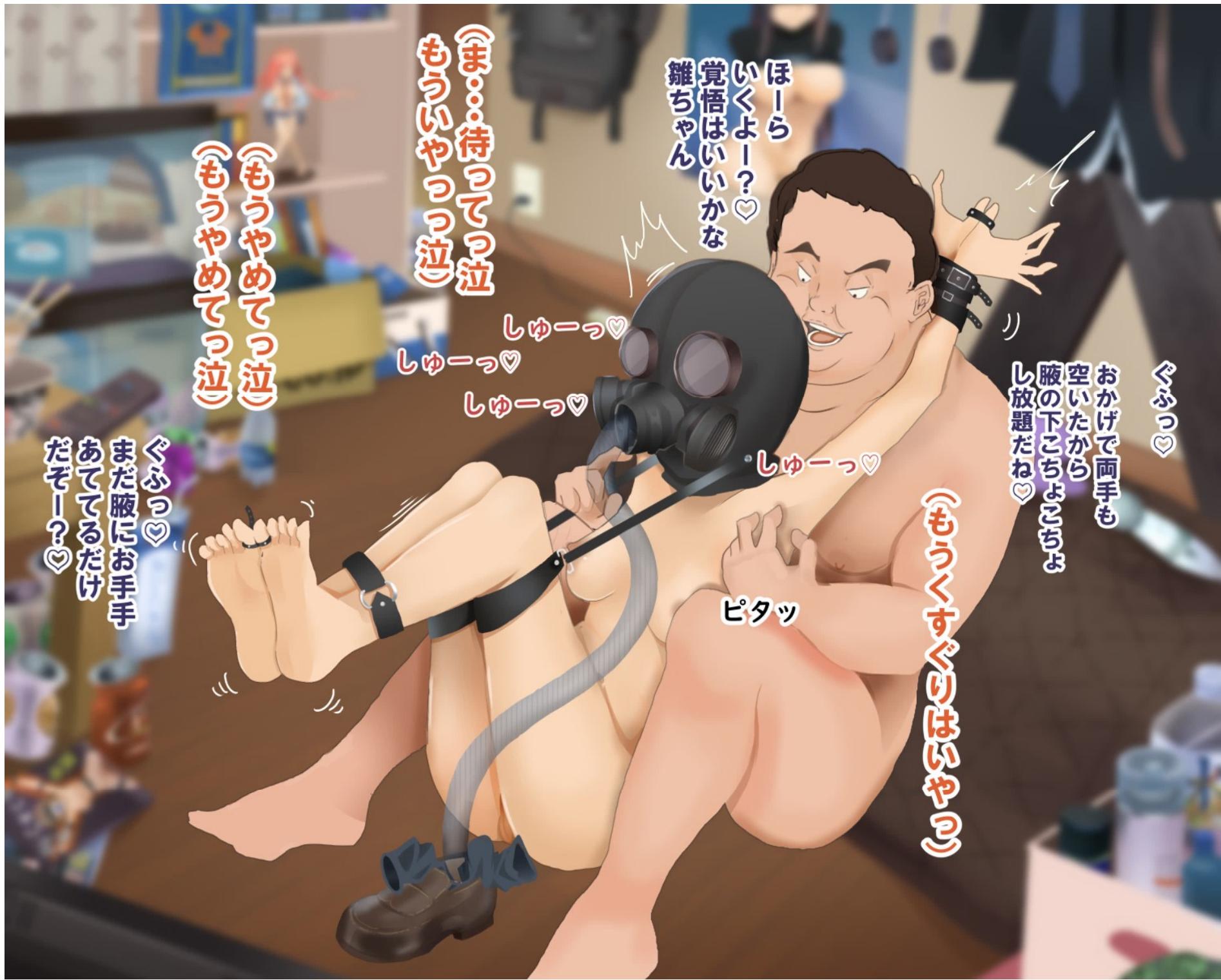
(ほこつ)



敏信さんは、床に転がっていたマスクのようなものを拾うと、無理やり雛ちゃんの顔に装着してしまいました。







ぐふつ
（もうくすぐりはいやつ）
まだ腋にお手手
あてるだけ
だぞー？♥

（もうやめてつ泣）
（もうやめてつ泣）
（もうやめてつ泣）
（もういやつ泣）
（もういやつ泣）
（もういやつ泣）

ほーら
いくよー？♥
覺悟はいいかな
雛ちゃん

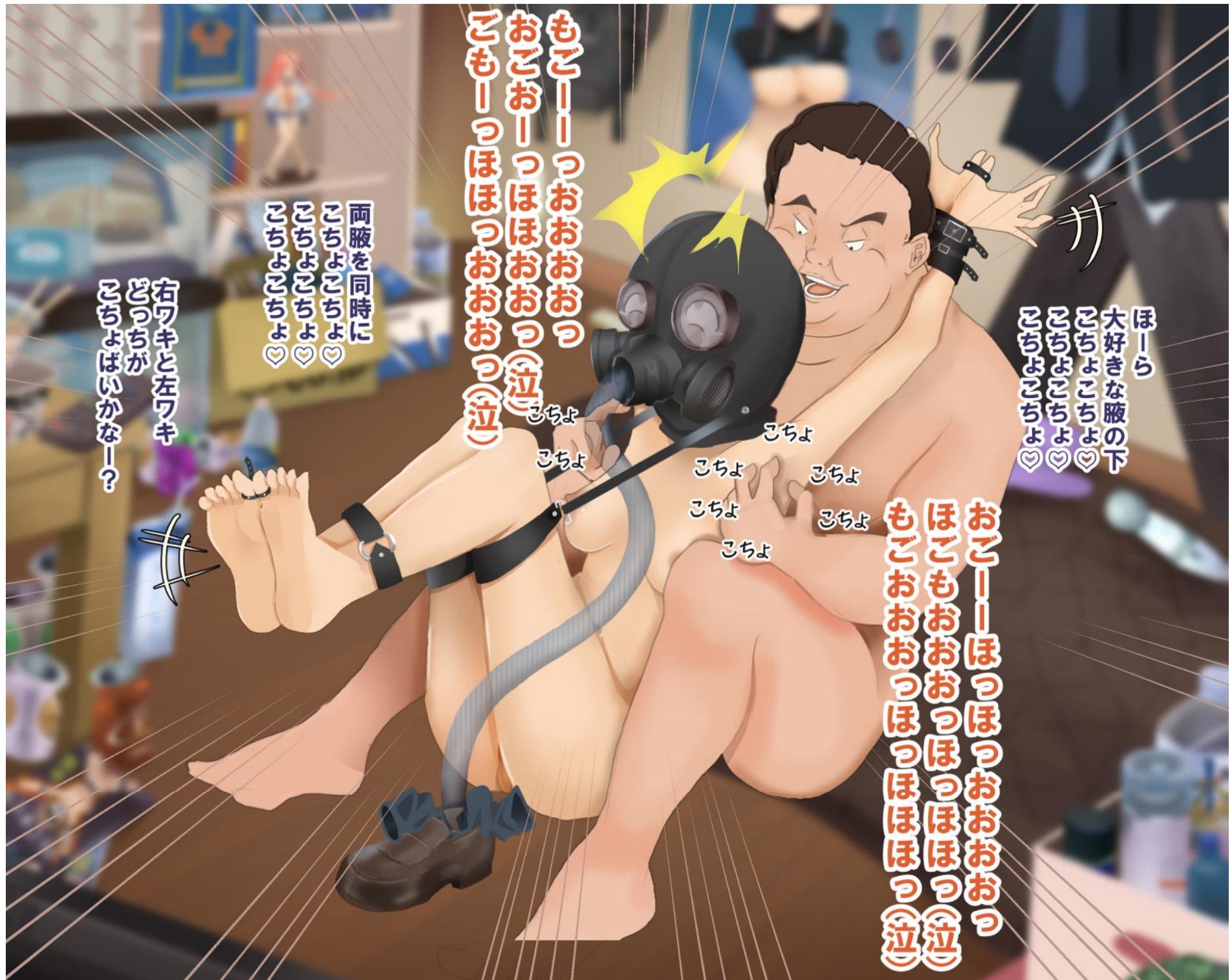
しゅーっ♥
しゅーっ♥
しゅーっ♥
しゅーっ♥

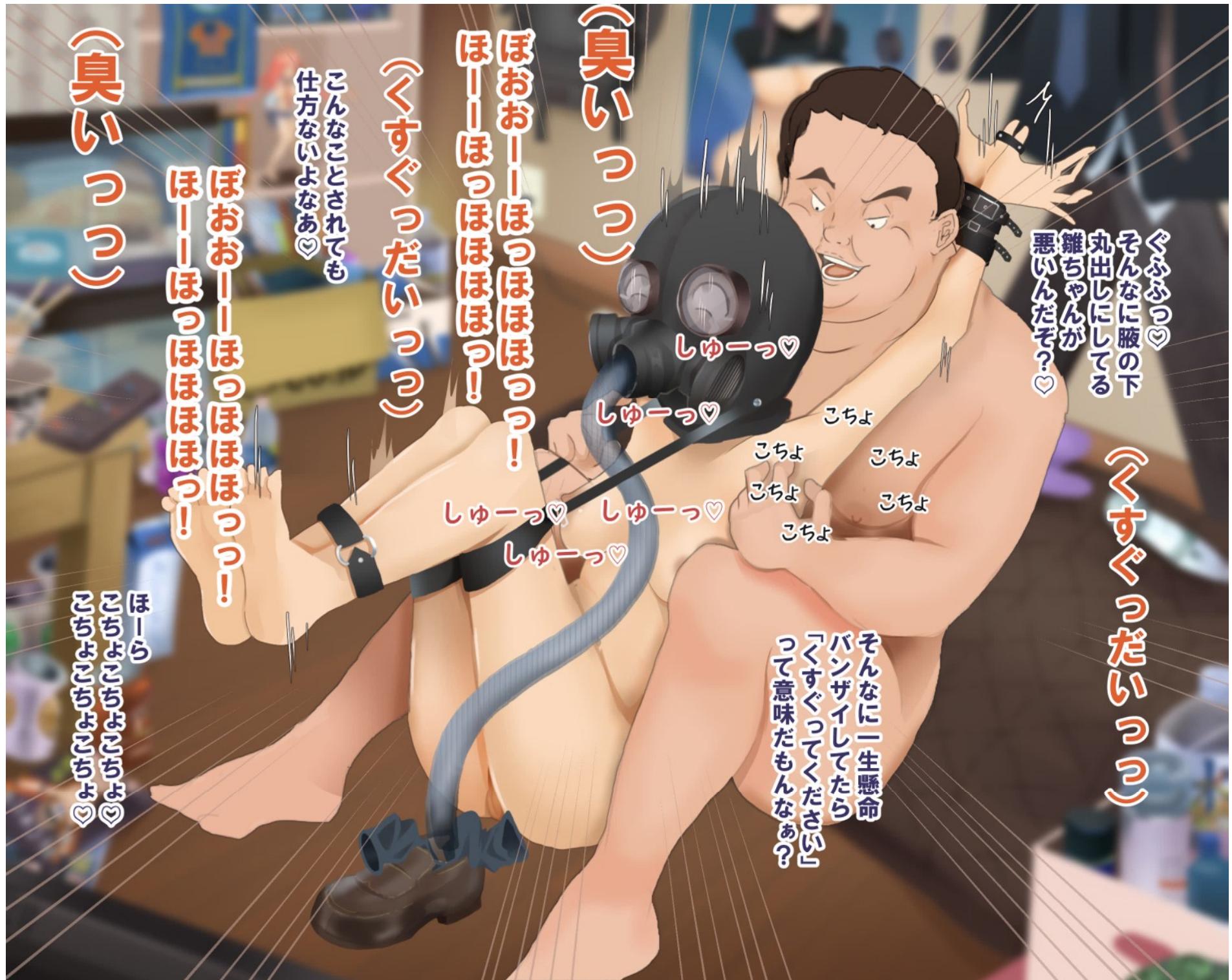
ピタッ

おかげで両手も
空いたから
腋の下こちよこちよ
し放題だね♥

ぐふつ♥

（もうくすぐりはいやつ）







ちょろろろろろろ.....

ちょろろろろろろ.....











こうして雛美ちゃんは、くすぐられでお漏らしする恥ずかしい姿を、学生証と一緒に撮影されてしまいました。

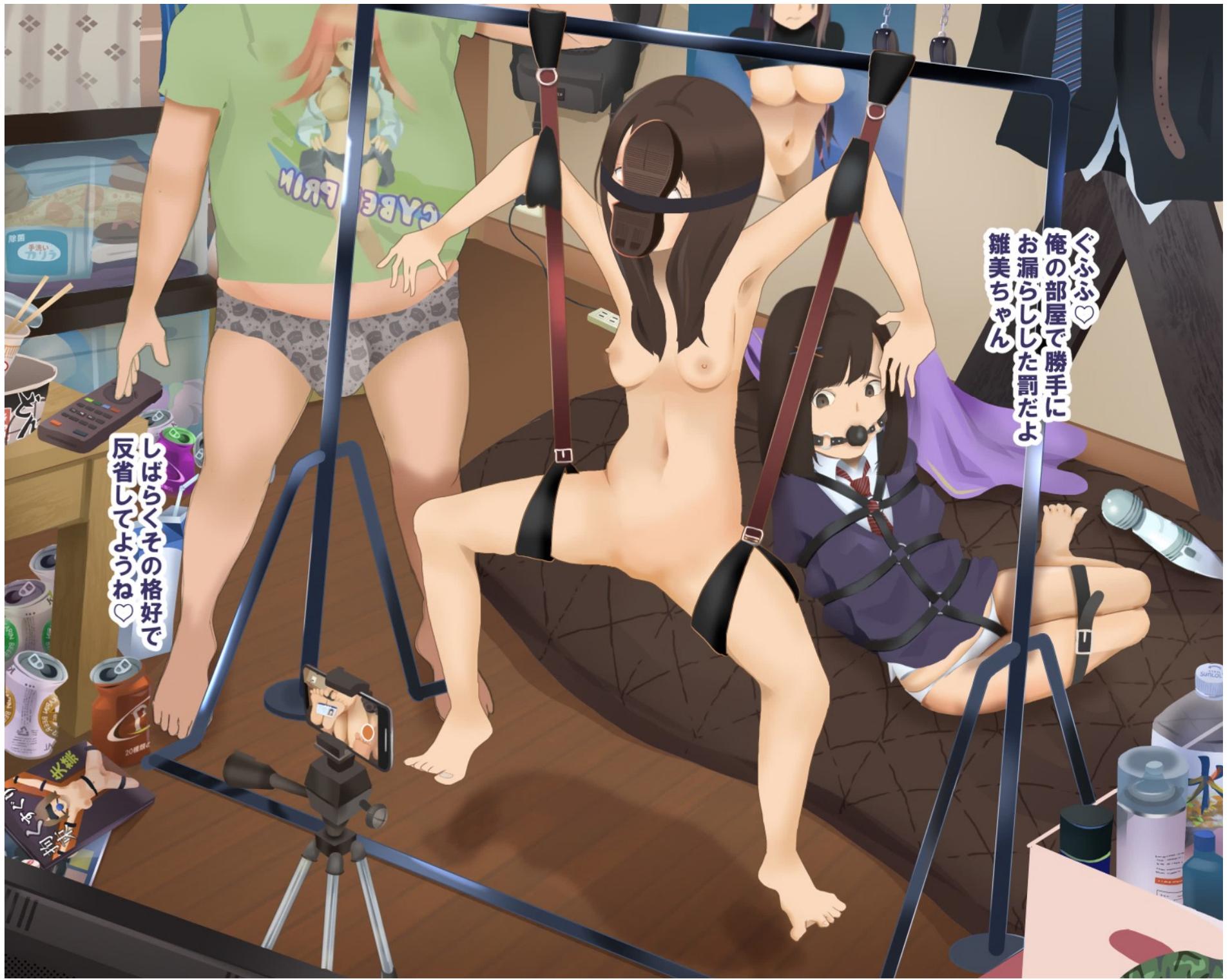


恥ずかしい姿を撮影されて、弱みを握られてしまった雛美ちゃんは、
いよいよ、敏信さんに逆らえなくなりました。

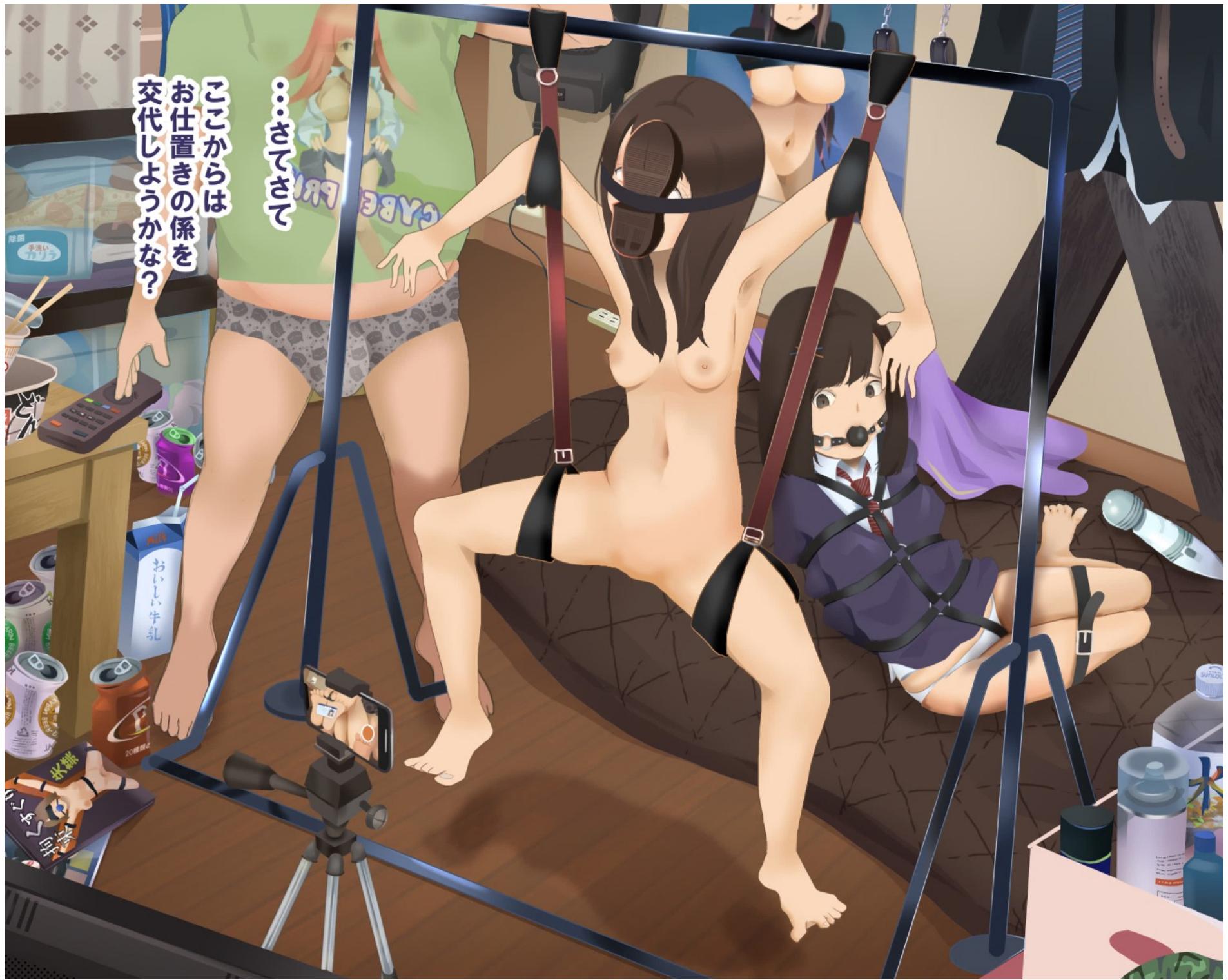




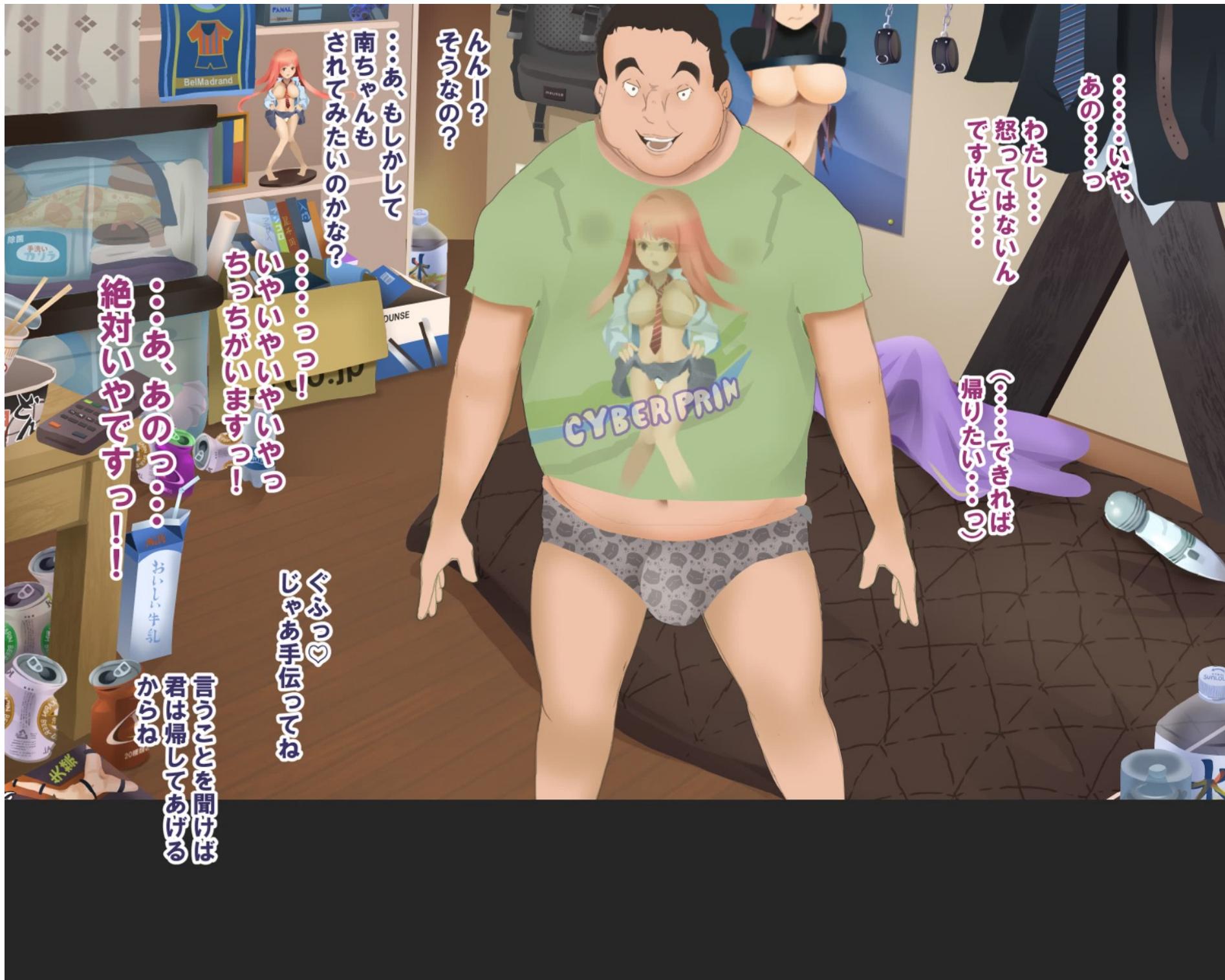
敏信さんは、室内トレーニング用の鉄棒を隣の部屋から運ぶごと
それに拘束具を取り付け、雛美ちゃんを吊るしてしまいました。













私は敏信さんの威圧感を前にして、何も言えなくなってしまいました。
ごめんね。。。離美ちゃん。。。



こうして私は、なぜか敏信さんにかわって
南ちゃんをくすぐってお位置きすることになりました。

ぎやーはつははつははつ
南つ、やめでつ！やめでつ
はーつはつははははつ

ひーつひつつひひひつ
はなんでぐずぐるのよーー
腋はやめでーつひひつ

こちよ
こちよ
こちよ
こちよ
こちよ
こちよ
こちよ

あつひやつひやつひやつ
ワキ弱いのーほつほほほつ
ワキダメーーはつははつ



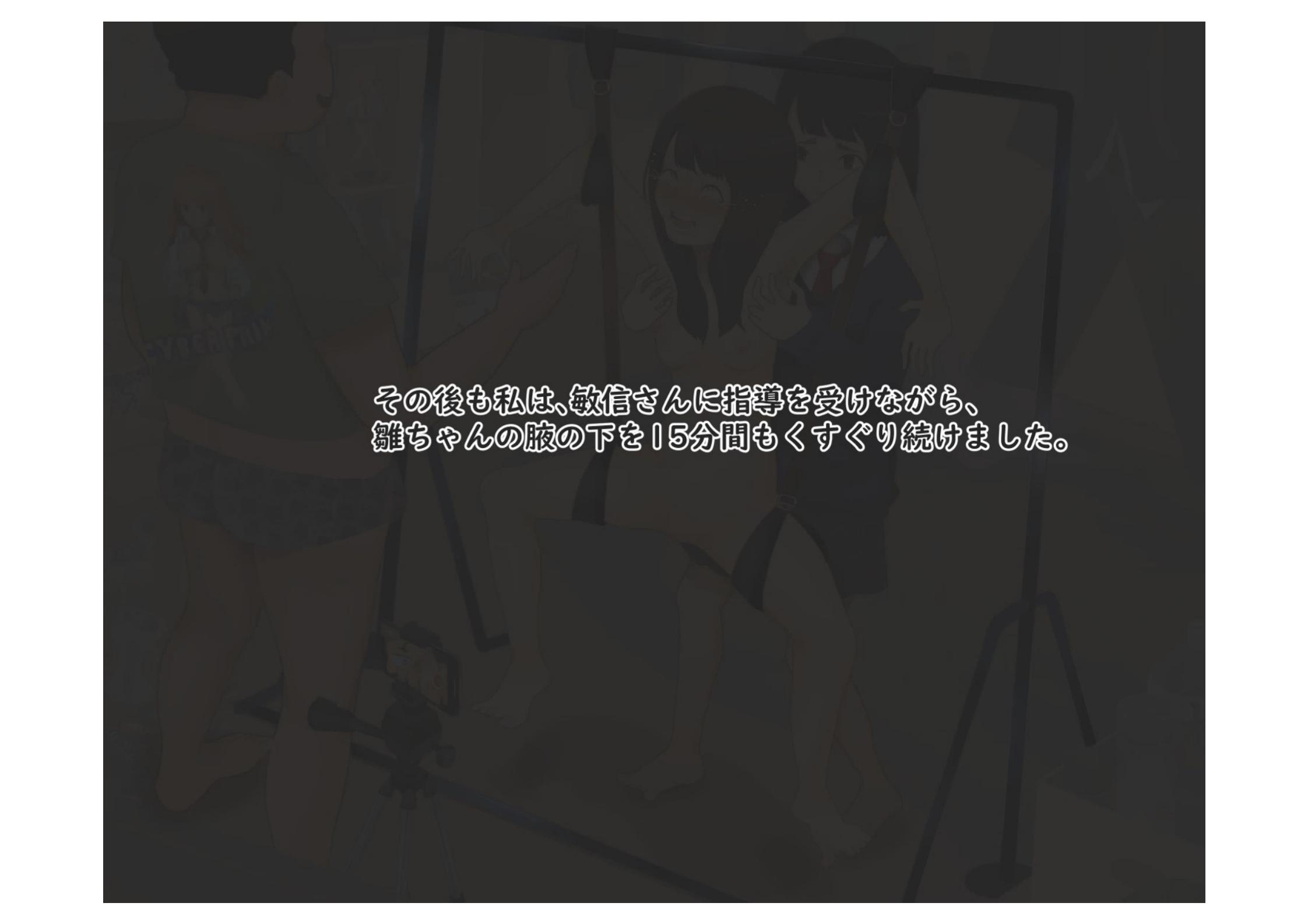




雛美ちゃんのくすぐりの弱さは、おそらく幼稚園児以下でした。
私が少し腋の下の塞みをなぞるだけでも、大袈裟なくらいカラダを跳ねまわらせ
上下に揺らし、涙を流して苦しそうに笑っていました。



でも、どんなに笑っても暴れても、腋の下は無防備に丸出しのまま。
ただのくすぐりとはいえ、さすがに私も少し可哀そうになりました。



その後も私は、敏信さんに指導を受けながら、
離ちゃんの腋の下を15分間もくすぐり続けました。





でも一方の雛ちゃんは、私にくすぐられることに怒りや屈辱を感じていたようでした。



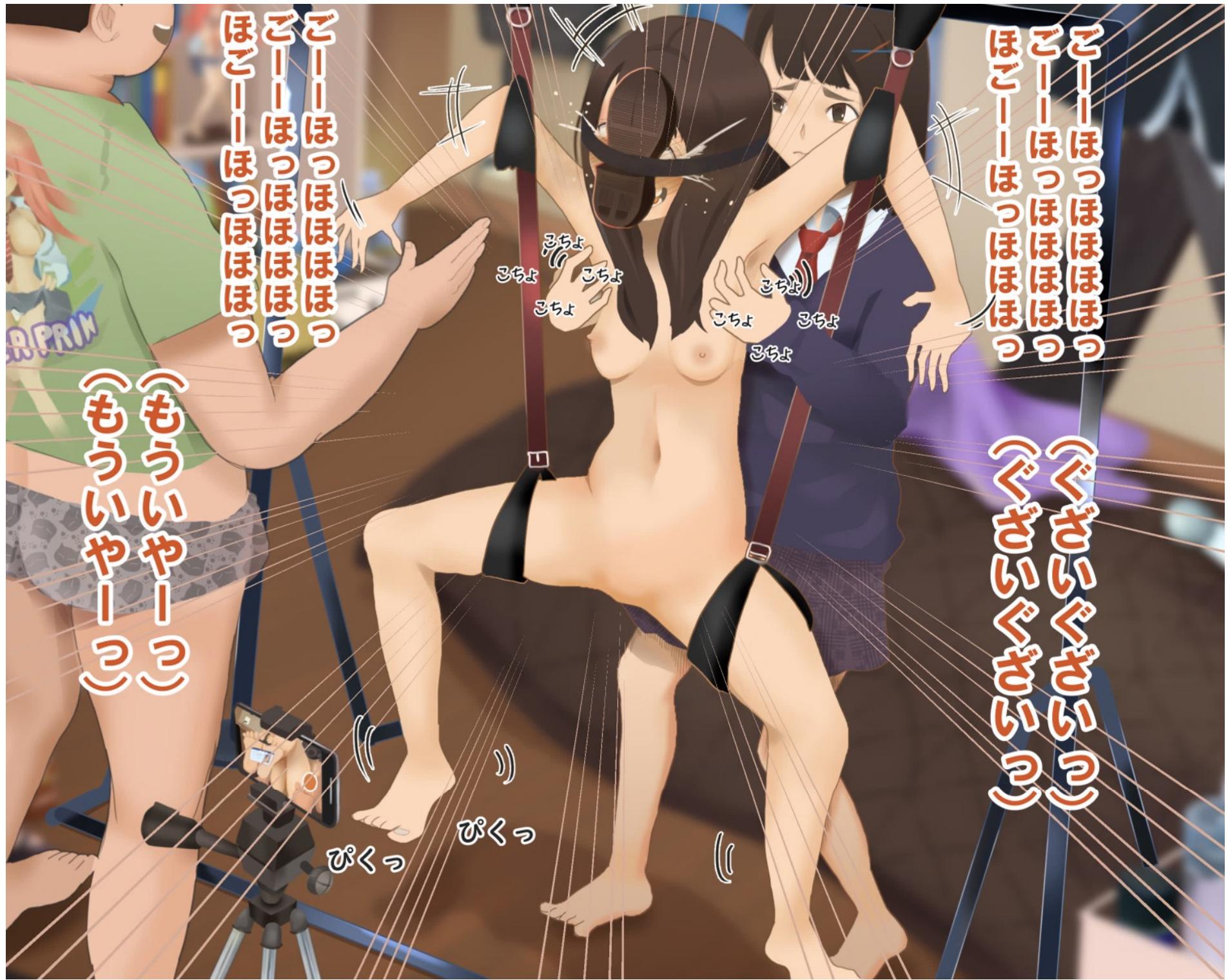
やつ、やめろつて
言つてるでじょーーはつ
ははつははつははつ

みつ、南のばかーーははつははつ
いい加減にじるーーはははつ
覚えてろよーーはつはつははつ

ひーつひひひひつ
足ぐざい癖にーーひひひいつ
ひつひひひひひつ
足ぐざい癖につつ







その後も私は、敏信さんの指示に黙って従いつづけました。
離美ちゃんを弄ぶことにちょっと罪悪感はあったけど....。





そしたら：
「大きくなれ♪」
つていいいながら

優しく
モミモミして
あげよつか:::♥

ほら、
やつてごらん？







そしたら…
粘度をコネコネして
小さいお団子
つくるみたいに…

ゆーつくり
おっぱいの先っぽ
こねてあげよっか
♥

そうそう、
上手上手！
南ちゃん
さすがだなあ

（…おつ）
（…おつ）

（…おおつ）
（…ほおつ…おつ…おつ…）
（…おつ）

大事に大事に
コネコネして…

ときどき
強く摘まんで
あげてねー！♥



あつストップ!

ぐふつ
雛ちゃんの乳首が
ピンポンに固くなつて
勃起してきたでしょ?

ピタッ

そしたら
おしまい

「なに乳首固く
してんのよバカ
つて:

叱りながら
腋の下こちよこちよ
してあげてね♡



なに乳首固くしてんのよ
このバカつ！

ほ、本当に
ごめんね、雑ちゃん

こちよ
こちよ
こちよ
こちよ
こちよ
こちよ
こちよ
こちよ

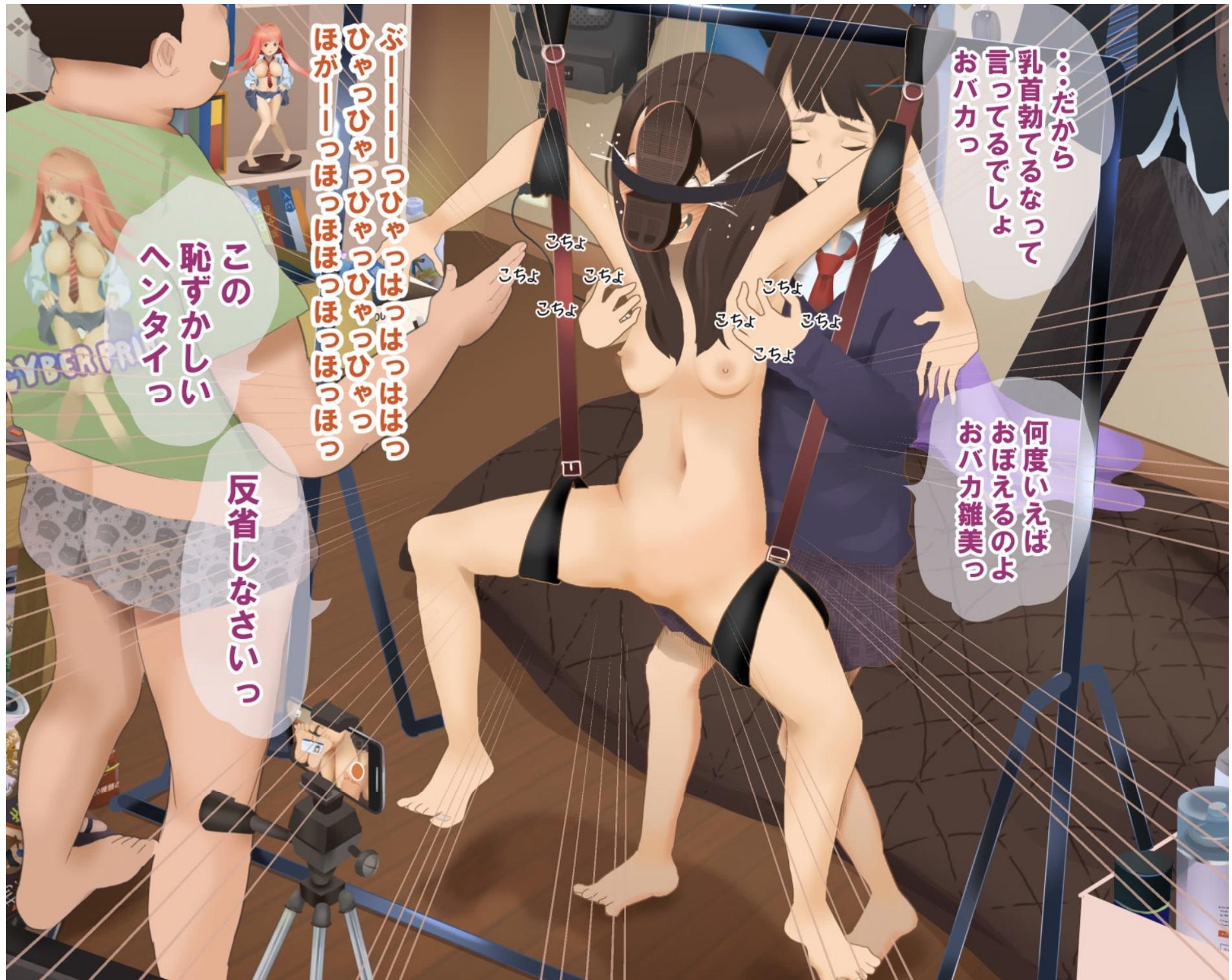
ぶーーーーーひやつはつはつはつはつ
ひやつひやつひやつひやつひやつ
ほがーーつほつほつほつほつほつ







こうして私は、雛ちゃんのおっぱいをコネコネするのと、腋の下をこちよこちよするのを交互に何度も繰り返しました。雛美ちゃんは、されるがままのオモチャのような状態でした。



それやめでつ泣
侮辱しながらこちよこちよ
するのやめでつ泣

おがじぐなるつ泣
(頭おがじぐなるつ泣)

そ うそ
雛ちゃん
セシスあるよ

もつと雛ちゃんが
恥ずかしくて
悔しくなる言葉を
考えてごらん

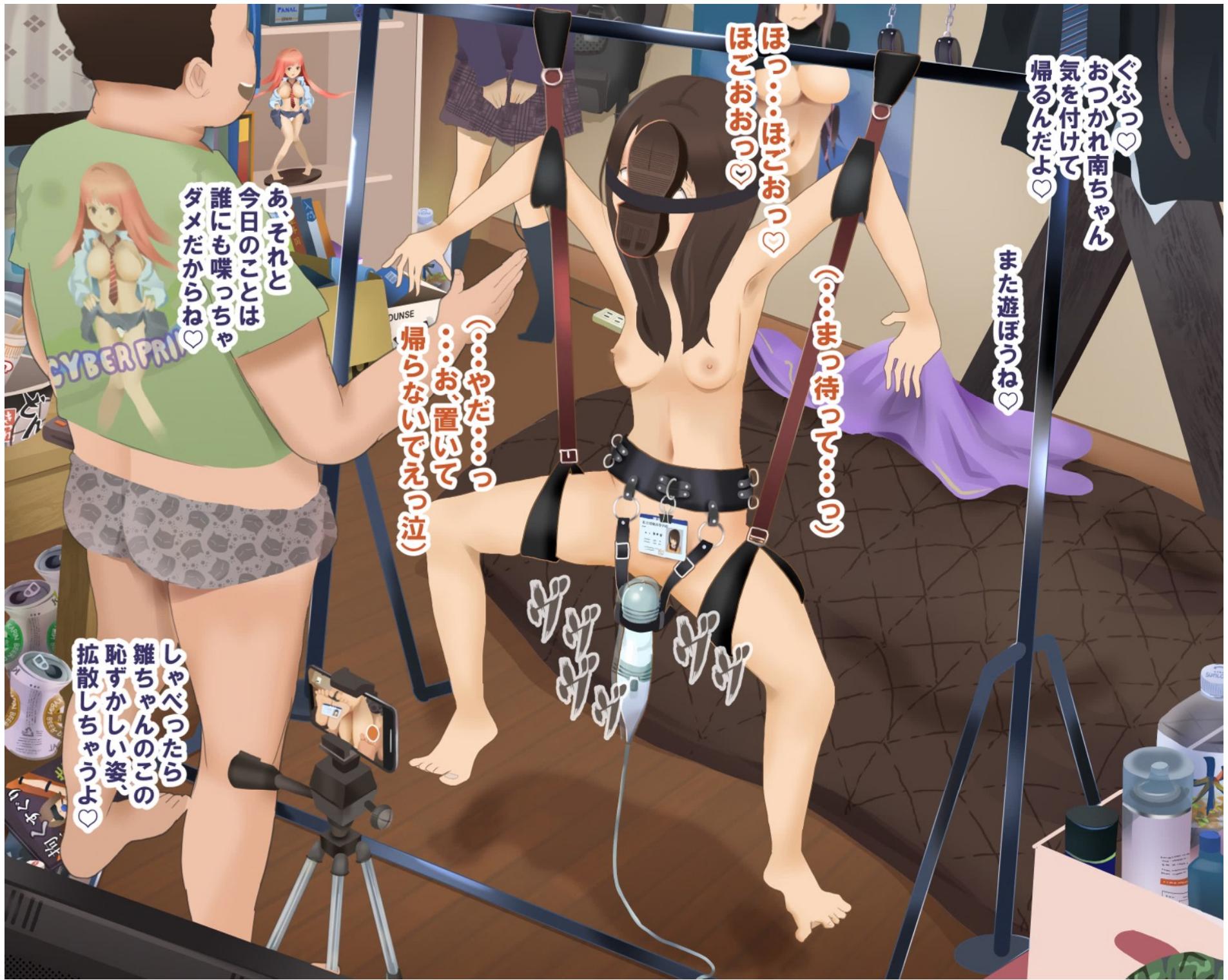




雛ちゃんの2度目のおしっこの掃除が終わると、私は敏信さんに
いきなり「帰ってもいいよ」と告げられました。









その後も雛ちゃんは、私の靴や靴下を嗅がされながら、何時間もたっぷりこちょこちょされたみたいです。

これに懲りた雛ちゃんは、悪い遊びや怪しいアルバイトは一切しなくなりました。

おしまい



こちょこちょ ❤
くすぐらんど